

# 市民の願い 粘り強くあきらめず 実現へ!

提案し、行動する。

## 日本共産党

### 2013年 3月議会

政権が安倍自公内閣になったことで、市長の施政方針を受けての各党派による代表質問と新年度予算に対する集中審議が行われ、市政全般にわたって問題点をたどりました。  
日本共産党は、社会保障や憲法の改悪を許さず、ひきつづき頑張ります。

#### 代表質問

議会初日の市長の施政方針では、「子育て、教育、文化を軸とした都市ブランドづくり」が掲げられました。しかし市長が描くアート、ブランド、おしゃれな街の陰で、保育所、学童、学校はポロポロ、暮らしや営業の苦しさに日々直面している市民生活の現実が置いてけぼりになっています。  
代表質問では、25項目にわたる質問をおこないました。

#### 社会保障

#### 負担増の連鎖とめよ

生活保護基準の引き下げは、受給者が保護から外されるケースはもちろん、各種の減免制度や住民税の非課税の基

#### いじめ対策

#### 教育環境の充実を

津のいじめ報告書をもとに、小学校では全国平均の2倍、中学校では4倍（1校あたり）と多い松戸市のいじめ対策をたどりました。また児童・生徒への対応ができるよう、月100時間を超えるケースもある教員の残業の実態把握と、超過勤務の解消を求めました。

#### 図書館の充実

#### まずは司書増員を

市長の標榜する「文化」の中心を担

#### 「子どもの医療費助成」

#### 中学3年生まで大きく拡大!

松戸市の「子どもの医療費無料化」は、03年に0歳から3歳まで医療費助成がはじまり、08年には就学前までに拡大、2010年には6年生まで無料化され、県が中学3年生まで助成を拡大（入院のみ）したことに伴い、市は中学3年生までの入院・通院の無料化を拡大しました。

子どもの医療費助成は、新日本婦人の会が運動をよびかけ、全国に広がりました。党市議団は、「子どもの医療費助成」の対象年齢の拡大を求め、市民からの請願・陳情の採択に努力、議会質問などで繰り返し求めてきました。



#### 道路照明灯のLED化

#### 1年で全灯を交換へ

日本共産党はこれまで、防犯灯をLEDに切り替えることを提案し、いま町会・自治会で順次実施されています。今年度はさらに道路照明灯（約3000灯）すべてのLED化が実施されます。これにより電気代などの経費節約や、二酸化炭素の削減などの地球温暖化防止対策がすすむことが期待されます。

#### 常盤平駅南口にエレベーターを設置する事業費が予算化!

北口より利用者の多い南口にもエレベーターをとの強い要望があり、日本共産党は署名運動に取り組み、松戸市との話し合いや新京成本社との交渉、議会質問でも繰り返し求めてきました。  
昨年度末に基本設計の補正予算が増額され、今年の夏ごろには設計がたまり、来年度にかけて事業が行われる予定です。住民の強い願いと頑張りが実を結びました。

#### 梨香台保育所・東部市民センター

#### 11年越しで耐震化、エレベーターが実現!

困難といわれるなかで、市長交渉、署名活動、陳情、議会質問など、市民の皆さんとの11年間にわたる取り組みがついに実を結びました。梨香台保育所・東部市民センターの耐震化、エレベーター設置の予算が成立し、いよいよ工事が始まります。  
地域からは「あきらめずに声をあげ続けてよかった」という喜びの声が日本共産党に寄せられています。

他にも  
市民の声に  
応え、前進

- ケースワーカー、介護認定員、家庭児童相談所の増員
- 地域包括支援センターが3→11カ所に拡大
- 新松戸支所にも震度計を設置
- 町会による要援護者台帳への整備支援
- 特別支援教育支援員が16→20人へ4人増員
- 市ホームページ、平和のアーカイブスの充実
- 全ての投票所がバリアフリー化に
- 若者就労支援事業で、企業とのマッチングイベントの開催
- 国民健康保険料の据置き
- 放射能の戸建て住宅測定、除染の実現

まつど民報

【市政報告】

2013年4・5月号

日本共産党松戸市議団

TEL 047 (366) 7403

FAX 047 (366) 5915

ホームページ

日本共産党松戸市議団

検索

メールアドレス

jcpmatsudo@earth.ocn.ne.jp

どうぞあなたのご意見・ご要望をお寄せください

裏面もご覧ください

左から、伊藤よいちろう市議、山口正子市議、高木健市議、高橋たえ子市議、うつの史行市議、みわ由美前県議



